

## 解答

問一 味方  
A オ B イ C ア D カ  
どんなんに予防してもオオカミはヒツジを殺してしまうから。

問二 科学的な姿勢や知識  
イ ウ (う) 草食獣の密々という役割

問三 問四 問五 問六 問七 問八 問九

問一 問二 問三 問四 問五 問六 問七 問八 問九

問一	ア	ウ
問二	エ	力
問三	秋	エ
問四	ア	エ
問五	ウ	×
問六	ジム	×
問七	学校	×
問八	手	○
問九	握り	○

学校には行きたくないが、どうしても先生には会いに行きたいという気持ち。

問一	ウ
問二	イ
問三	少
問四	イ
問五	ア
問六	少
問七	イ
問八	ア
問九	イ

## 解説

問一  
二

「(ヒツジが襲われないように) その予防をしたであろうが、オオカミはそれをあざ笑うかのようにさらにはじきを殺すこともあった」とあり、それゆえさらに「憎悪は強くなつた」と述べられています。

続く文章で「どうしても学校の門をはいることは出来ないように思われたのです。けれども先生の(明日はどんなことがあっても学校に来なければいけませんよ。あなたの顔を見ないと私は悲しく思いますよ)という別れの言葉を思いだすと、・・・僕は先生の顔だけはなんといつても見たくてしかたありませんでした。」とあります。